旧 | 第22260号 | 発行所◎日刊工業新聞社 2015 | 日刊工業新聞社 本社(TEL)03-5644-7000 東京都中央区日本橋小網町14-1 | 日刊（土曜日・日曜日休刊） | 昭和15年8月17日第3種郵便物認可

02
GDP、連続マイナス
7－9月の実質GDPは、前期比0.2%減、年率換算0.8%減と2四半期連続マイナス。

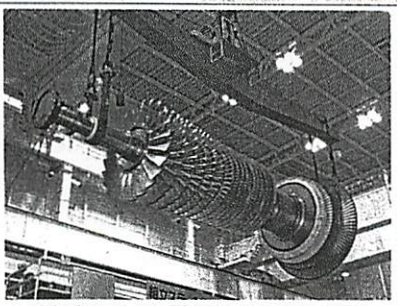
08
高所作業車で米再参入
アイチコーポレーションは、北米で自走式高所作業車市場に再参入。3機種を投入。

HUMAN FRIENDLY
for Hitachi Elevators / Escalators
株式会社日立ビルシステム

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞
11月17日火曜日
2015年(平成27年)

三菱日立PS、サウジに工場

サウジアラムコ専用
燃焼器・ローター短期補修


サウジアラムコに引き渡したものと同型のF型ガスタービン

三菱日立パワーシステムズ（MHPS）はサウジアラビアにガスタービンの補修工場を新設する。稼働予定は2016年2月。投資額は明らかにしていないが、世界最大の石油会社であるサウジアラビアン・オイル・カンパニー（サウジアラムコ）向けの実質専用工場となり、定期メンテナンスを必要とする燃焼器やローターなど高温部品を短納期で補修する。

MHPSが重点強化にサウジアラムコと締結しているアフターサービス事業強化の一環。契約に基づき、補修工場を建設する。13年に設立したサウジアラビアの現地法人を通じてサービスを提供する。MHPSは14年12月従業員を15年末に30人（このうちサウジアラビア人10人）、17年末に70人（同25人）、20年末に85人（同32人）に増やす。

日本や米国、中国、タイなどに続く大規模補修拠点となる。

契約対象は三菱重工が04年に引き渡した出力各15万1000㌔㍗のM501F形ガスタービン2基を皮切りに、これまで納入した同形ガスタービン11基。14年間の長期保守契約（LTSA）を含み、ガスタービンの保守・管理、代替部品の供給およびリモートモニタリングなどを行い、プラント設備の安定・高効率稼働に貢献する。

従来、高温部品の補修は主に、日本に持ち帰るか、アジアの補修センターとして拡大してきたタイ電力公社（EGAT）とのジョイントベンチャーやEGATの工場活用などで対応していたという。サウジアラビアの補修工場はタイと同規模になり、現地従業員のトレーニングなどを通じて順次拡大する。

渡航自粛
日本企業に衝撃
冷静な対応
現地事業は継続

パリ同時テロ

パリで発生した同時多発テロは、日本企業にも衝撃を与えた。各社は現地に駐在する社員の安否を確認するとともに、日本から現地への渡航を当面中止するなど、対応に追われている。ただ、現地での事業は継続しており、混乱のなかにも冷静に対処する姿勢がみられる。

（3面に関連記事）

現地での事業活動は「安全に最大限留意しつつ継続する」（三菱東京UFJ銀行）、自動もあり、企業活動に影響がでている。

「16日からは再開予定」（良品計画）など、大半の企業は事業継続に動いている。一方で、企業の多くが現地への渡航自粛を指示しており、パリだけでなく不要不急の海外渡航そのものを自粛する

住友林業、アシストスーツ
アクティブリンクと共同
山中斜面の歩行支援

ロボット革命

住友林業は林業従事者の歩行を支援する「林業用アシストスーツ」を、2017年度末をめどに実用化する。造林は山中の急斜面を登ったり下ったりしながら歩き回る作業が大半を占める。肉体的な負担が大きく、従事者の高齢化対策や、新しい就労者の定着のためにも負担軽減は大きな課題となっている。15年度末までに斜面を直登する技術を確立し、段階的に複雑な歩行を可能にする。

装着者の動きを検知し、太ももを持ち上げるような動きで歩行をサポート（試作機）

装着者の動きを検知し、太ももを持ち上げるような動きで歩行をサポート。重量は約15㌔。重量を接地面に逃がす「竹馬のような」（橋崎達也林業企画グループチームマネージャー）構造になっており、停止時にも装着者が重さを感じることはない。

実用化に当たってアクティブリンク（奈良市）、国立研究開発法人森林総合研究所（茨城県つくば市）、奈良先端科学技術大学院大学とコンソーシアムを設立した。開発をスタートしたのはおよそ1年前。アクティブリンクが試作機を開発し、森林総研と奈良先端大が取得したデータの分析・評価などを担当。住友林業は現場のニーズを吸い上げつつ開発と実証実験の全体をとりまとめている。

林業の現場では斜面を横切るような移動が多く、倒木などの障害物も多い。平地の歩行に比べてバランスの維持が難しく、複雑な制御が要求されるが、「難しい条件で動作できれば良い成果になる。究極的には道なき道を歩けるようにしたい」（同）。早期に実用化し、量産化への道筋をつける考えだ。

おかげさまで90周年
総合エンジニアリング
三機工業
http://www.sanki.co.jp/

600kgの耐力
個性いろいろ3,000種類
ハンマーキャスター
www.hammer-caster.co.jp

産業春秋

「A社は○年入社組に優秀な人材が多い」「B社は×年組が粒ぞろいだ。そのうちの誰かがいずれ社長になるだろう」といった人事をめぐるうわさ話がよく聞かれる。2017年春の入社組が話題の中心になる時代がくるかもしれない▼そんな将来の幹部候補生が、就職活動で困惑している。企業による選考開始（解禁）時期が二転三転しているからだ。昨年までの解禁は4月安倍晋三政権の「学生の勉強時間を増やすべき」という要請だった。しかし8月だと炎天下での就活となり、企業は選考期間をもう少しほしい▼気の毒なのは、8月解禁と聞いて海外留学した学生だ。5―6月に帰国すれば解禁に間に合うはずだった。それがいきなり6月解禁になれば準備が間に合わず、グローバル人材はスタートから出遅れてしまう▼ビジネス社会で朝令暮改

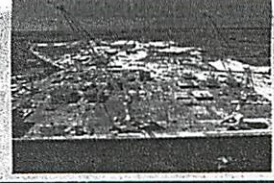
TODAY

26 深層断面

石油業界一大型再編
石油精製・元売り業界で、新たな再編のうねり。業界首位のJXホールディングスと3位の東燃ゼネラル石油が、経営統合に向けた協議を進めていることが16日、明らかになった。合従連衡の動きが一段と加速している。（JX系列のSS）

06 ポリカ表面硬化技術を供与
レニアス、車窓採用に弾み
10 映画フィルム、4K映像に
山勝電子工業、スキャナー開発
11 ガーナで医療ボランティア
テルモが社員派遣
13 装着感を改善した総入れ歯
三井化学、米子会社で開発
14 開削なしでガス管検査
大阪ガス、来春に実用化
15 介護食品に本格進出
ケンコーマヨネーズ
19 地方創生一地銀と連携
政投銀、中小企業を支援
23 タイに初の製造拠点
ウチヌキ、建設資材需要見込む

インタビュー
08 ファナック専務・稲葉清典氏
07 伯の海洋案件、テコ入れ加速



大災害時のID発行について
大規模自然災害で印刷所からの新聞輸送に支障が生じた際は、月ぎめご購読者に限り電子版が一時的にご覧になれます。ウェブサイトhttp://e.nikkan.co.jpからお入り下さい。
日刊工業新聞社

www.nikkan.co.jp

最前線の声

物流各社広大

つの現地法人に集約するなど、事業のすみ分し、荷物が大きく減ることはない。ただ、内